

医学部進学予備校
メビオ

解 答 速 報

福岡大学医学部 英語

2019年2月2日実施

[I]

私は長い年月をかけて悟ったのであるが、我々が理不尽だと思うものでさえ、批判を受け入れ、自分を批判する者に対する敬意と配慮をもって対応する能力を養えば、その能力は為された批判によって受ける痛みを和らげる力を持つのである。

[II]

22	23	24	25	26	27	28	29
1	4	1	7	1	8	1	9

[III]

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)
30	31	32	33	34	35	36	37
1	4	1	2	4	1	1	3

[IV]

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
38	39	40	41	42	43
2	4	3	1	1	4

[V]

	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
A	44	45	46	47	48	49
	7	6	4	1	5	3
B	50	51	52	53	54	55
	4	3	7	2	6	1
C	56	57	58	59	60	61
	4	7	2	6	1	5
D	62	63	64	65	66	67
	6	3	5	1	4	2

[I] 批判がどれほど人を傷つけるものであろうと、それは物の数ではない。問題なのは、批判にさらされたとき、我々がむきになってしまふことだ。我々は批判されるかもしれないが、批判は我々が加えた分しか力を持たないのである。むきになって、相手を激しく批判し返してしまうとき、我々はすでに負けてしまっているのだ。私は長い年月をかけて悟ったのであるが、我々が理不尽だと思うものさえ、批判を受け入れ、自分を批判する者に対する敬意と配慮をもって対応する能力を養えば、その能力は為された批判によって受ける痛みを和らげる力を持つのである。

[II] 14, 17, 18, 19

11 : 第1段落最終文から、 DeMille は未来の科学者がカリフォルニアの地中を掘り起こす可能性を想定し、その際には「古代エジプト文明がカリフォルニアにまで伝播したなどと科学者が思わないことを願う」と述べていたことがわかる。これは、彼の死後全ての科学者が自身の作品に関心を持つと想定していた、ということとは異なる。

12 : 第2段落第2文から、 DeMille は旧約聖書のモーセの物語を映画化したのであって、独自の物語を作ったわけではないことがわかる。また、第3段落第2文によれば、 DeMille がエジプトの都市を建設する必要があったのは、当時はCGや特殊効果を映画に使うことができなかつたからである。

13 : 第3段落第2文から、当時はCGや特殊効果を映画に使うことはできなかつたことがわかる。

14 : 第3段落第4文から、映画セットをその場に放置しておいた場合、別の映画会社がそのセットを流用し、 DeMille の利益が損なわれることを DeMille が懸念していたことがわかる。そして第3段落第5文に、以上の理由から 「DeMille は映画セットを壊して砂中に埋める指示を出した」とある。

15 : 第3段落第6文に、 “Luckily for him, ~” とあり、科学者がツタンカーメンの墳墓を発見したことは、 DeMille の映画制作の動機ではなく、むしろ偶然の一一致であったことが窺える。

16 : 第4段落第1文から、 Brosnan は 「DeMille の映画セットを見つけて発掘することそれ自体が魅力的な映画となる」と考えて映画制作に乗り出したことがわかる。

17 : 第5段落第3文から、考古学者が1990年に映画セットが砂中に埋まっていることを確認して初めて、投資家は Brosnan の計画に関心を示したことがわかる。

18 : 第2段落第1文と最終文から、 Brosnan がこの着想を得たのは1982年であったことがわかる。また、第5段落最終文に Brosnan の映画が公開されたのは2016年とあるので、映画が公開されたのは着想を得てから34年後とわかる。

19 : 選択肢19の英文自体を検討する。 “Archaeologists treated the ruins of DeMille’s movie set with care for the same reason that they were careful with objects that actually came from ancient Egypt.” 「考古学者は DeMille の映画セットを注意して扱ったが、それは、彼らが実際に古代エジプトから発掘されたものを注意して扱うのと同じ理由による」。第6段落第2, 3文によれば、 DeMille の映画セットは「私たちの文化の歴史の重要な一部分」であり、それが「実際の古代エジプト芸術とどう異なるかが興味深い」ので、「実際のエジプトの出土品と同じ扱いを受けるに値する」とある。第6段落最終文によれば、 DeMille の映画セットの発掘は、古代エジプトというよりも1923年の大衆の映画鑑賞文化を明らかにするが、古代エジプトと同様に1923年も、「すぐに過去へと消え去る時代の一つ」であると述べられている。エジプトでの出土品も、 DeMille の映画セットも、当時の歴史的状況を知る手がかりになるという同一の理由から、注意して発掘作業が行われていることがわかる。

20 : 選択肢20の英文自体を検討する。 “In the details of DeMille’s movie set can be seen the influence of Greek and Japanese art on the ancient world.” 「DeMille の映画セットの細部には、ギリシャや日本の芸術が古代世界に及ぼした影響が見られる」。第6段落第4文から、古代ギリシャの彫刻や日本画が影響を及ぼしたのは、実際の古代世界に対してではなく、20世紀初頭の芸術様式に対してであり、その指導的立場にあったのが DeMille の映画セットのデザインを手がけた Paul Iribe であったことがわかる。

- [III] (a) 1 habits account for about 40 percent of ~ 「癖は～の約40%を占めている」
 (b) 4 The famous artist ~, never to be seen again 「その有名な芸術家は～し、二度と目撃されるることはなかった」
 (c) 1 the so-called economic divide 「いわゆる経済格差」
 (d) 2 No single person can ~ 「だれも一人では～できない」
 (e) 4 If my girlfriend were to leave me, ~ 「もし彼女がいなくなれば、～」(仮定法)
 (f) 1 baseball as we know it today 「私たちが現在知っている野球」
 (g) 1 many positive changes happen in ~ 「～に多くの好ましい変化が起ころる」
 (h) 3 what education is like in ~ 「～の教育とはどのようなものか」
- [IV] (a) 2 perspéctive [é]と同じものは professíonal 1. [í] 3. [í:] 4. [í]
 (b) 4 confúusion [ú:]と同じものは distribútion 1. [ú] 2. [í:] 3. [ó:]
 (c) 3 prímitive [í]と同じものは índicate 1. [á:] 2. [óu] 4. [é:]
 (d) 1 désperate [é]と同じものは suggéstion 2. [í] 3. [éí] 4. [æ]
 (e) 1 órchestra [ó:]と同じものは shórtage 2. [óu] 3. [é] 4. [éí]
 (f) 4 plátform [á:]と同じものは pássenger 1. [ó:] 2. [á] 3. [ó]
- [V] A. 7 6 4 1 5 3
 Of all the things you have done, what are you most proud of?
 B. 4 3 7 2 6 1
 The teacher taught us that any number multiplied by zero makes zero.
 C. 4 7 2 6 1 5
However much I travel, I never get sick of it.
 D. 6 3 5 1 4 2
 A victory tonight will put the team in a strong position to win the championship.

講評

- | | |
|-------------------|---|
| I [英文和訳] (標準) | 構造自体は平易だが、内容はやや抽象的であり、理解度による訳語の選択で差が付くだろう。 |
| II [長文内容一致] (標準) | セシル・B・デミル監督の映画セットについての文章。文章自体は平易だが、選択肢の一部に紛らわしいものがあり、完答は難しい。昨年並み。 |
| III [文法語法四択] (標準) | 昨年度まで2年続いた「適していないもの」を選択する問題から、「最も適当な語(句)」を選択する問題に戻り、かなり解きやすくなった。 |
| IV [発音アクセント] (易) | 例年通りアクセントのある母音の発音の異同を問う形式。全問正解を目指したい。昨年並み。 |
| V [語句整序] (やや易) | 基本的な知識を問う問題。昨年度より少し易しくなった。 |

大問IIIの文法問題が以前の形式に戻ったことで、平均点は上ると予想される。そうなると差が付くのは大問Iの英文和訳であろう。目標は75%